



日本年金機構

Japan Pension Service

Press Release

報道関係者 各位

令和 7 年 8 月 4 日
(照会先)
事業推進統括部
管理・市区町村調整グループ長
福永 康一郎
(電話直通:03-6892-0747)

経営企画部広報室
広報室長
金澤 美保
(電話直通:03-6897-8092)

令和7年度「わたしと年金」エッセイを募集中です

日本年金機構は、厚生労働省と協力して 11 月を「ねんきん月間」と位置付け、様々な取組を行っています。

「ねんきん月間」の期間中は、皆さまに公的年金制度に対する理解を深めていただくための啓発活動を展開する予定です。

この取組の一環として、広く皆さまから公的年金をテーマにしたエッセイを募集しています。ふるってご応募ください。

【募集内容】

公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金のかかわりなど、「わたしと年金」をテーマにしたエッセイ。

【募集期間】

令和 7 年 6 月 2 日(月)から令和 7 年 9 月 8 日(月)まで。

【応募資格】

中学生以上

【発表】

受賞作品につきましては、令和 7 年 11 月に日本年金機構ホームページで発表します。

【後援】

厚生労働省、文部科学省、全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会

【過去の受賞作品のアニメーション動画】

「わたしと年金」エッセイアニメーション動画特設案内ページ

<https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/animation.html>



募集の詳細につきましては、日本年金機構ホームページをご覧ください。

<https://www.nenkin.go.jp/info/torikumi/nenkin-essay/20250602.html>

「公的年金制度」を学ぶアニメーション動画のご案内

「わたしと年金」エッセイの受賞作品をアニメーション化し、日本年金機構ホームページに掲載しています。年金について学生の方や現役世代の方の体験談のエッセイを動画としていますので、ぜひご覧ください。

「わたしと年金」エッセイとは

日本年金機構では、公的年金の大切さや意義を皆さまと一緒に考えていきたいと思い、毎年公的年金を題材とした「わたしと年金」エッセイを募集し、優秀な作品を表彰しています。

〈動画の視聴方法〉

① パソコンの場合

日本年金機構のホームページよりご視聴ください。

「わたしと年金」エッセイ

検索

<https://www.nenkin.go.jp/info/torikumi/nenkin-essay/index.html>

② スマートフォンの場合

以下の二次元コードを読み取り、ご視聴ください。

(左記の日本年金機構ホームページからもご視聴いただけます。)



「わたしと年金」エッセイアニメーション動画特設案内ページ

<https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/animation.html>

令和2年度厚生労働大臣賞 受賞作品

あらすじ

わたしは大学時代に事故で足を切断してしまったが、母親が学生納付特例の手続きをしていたことで、障害年金を受給することができた。

その後、市役所の年金担当として勤務するようになったわたしは...

この動画で学べること

学生納付特例等、納付が難しいときに申請できる制度があること、そしてその制度の重要性を知ることができます。



令和4年度厚生労働大臣賞 受賞作品

あらすじ

わたしの父は闘病生活を送っており、仕事を続けることが困難となる。その結果、わたしの家庭は経済的に困窮していったが、父が障害年金3級を受給したことで、兄の学費を支払うことができた。

しかしその後父は亡くなり、わたしの家庭はより経済的に困窮してしまうようになるが...

この動画で学べること

公的年金には老後以外にも、人々の生活を支える役割があることや、公的年金制度のしくみを学ぶことができます。

